

平成29年度 玉川どんぐり保育園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の保育（教育）目標

明るいあいさつ にこにこ笑顔のおひさまっ子
 たくさん遊んで まっかなおひさまっ子
 話の聞く力の高い 心豊かな かしいおひさまっ子
 友だちの中で育つ やさしく たのしいおひさまっ子

2. 本年度の重点目標

園庭で思い切り遊び、健康なからだづくり
 絵本の時間を大切に、話しが聞け、自己表現できる子を育む
 自然体験活動を通して、心豊かな子を育む

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

25/25

項目	自己評価内容	評価
教育課程 ・指導	・園は目指している保育（教育）目標、本年度の重点目標を周知している。	A10 B14C1
	・保育（教育）課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A9 B12C3D2
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A12 B12C1
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A11 B12 C3
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A11 B12C2
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A10 B12C2D1
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A20 B4 C1
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A11 B12 C2
教育目標・ 園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A12 B13
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A21 B4
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A15 B9 D1
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A19 B5 C1
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A19 B4 C2
保護者・地域 住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A21 B4
	・地域のボランティア団体活動との交流や、施設訪問などを実施している。	A20 B5
子育て支援・ 預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A9 B15 C2
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A19 B6
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A9 B14 C2

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・地域の方や保護者の方の意見の中から信頼され愛されている保育園だと感じていただいていることがありがたかった。この思いを保護者の方が未就園児親子に伝えていただいて「評判が良かったから選んだ」という今年度入所児の保護者の声につながったと思う。信頼され、魅力的な保育園として続いていくようにと、建設的なご意見が多かった。概ねここ数年の集計結果と同様だが、取り組みが不十分であると自己評価した先生方がいた項目（新しい教育課程の共通理解、園運営の整備見直しと重点目標達成のための取り組み方）については、特に来年度の取り組み方を検討して改善を図ってほしいという要望も出されたので、具体的に先生方から再度お聞きして、次年度の取り組みに生かしていきたい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

日々の保育の充実とあわせて、先生方は気持ちをそろえて、明るく笑顔で元気よく取り組んできました。そのことが、認められていることにもありがたいと思います。地域的な立地条件の良さや、卒園した子どもたちや保護者の方の本園に対する愛着心の輪が広がって、現在の好感度を支えているとも感じます。おかげで、来年度も定員を維持できました。経験年数が浅く、力量不足の面はありますが、職員皆で協力し合って誠実に今後も取り組んでいきます。

課題

- (1) 先生方の連携を高めしていくためにも、報・連・相を徹底して行っていけるように心がけたい。
- (2) 個人記録やお便りなど、勤務時間に終わらない仕事が多い。提出の必要性や頻度などいろいろ検討したい。
- (3) 12年目になるが、前例のまま改善が見られないこともあり、主任や経験を積んでいる職員が見返し、慣れに陥らないように、子ども第1に考えて取り組む事が出来る職員集団でありたい。特に、本園の特色を生かした新しい保育指針に沿った教育課程を実践を重ねながらよりよいものに作っていききたい。